



## 文部科学省「基礎研究医養成活性化プログラム」に採択 実践力と研究力を備えた法医学者を育成

横浜市立大学医学部法医学教室（井濱容子主任教授）の提案事業「実践力と研究力を備えた法医学者育成事業」が、文部科学省の「基礎研究医養成活性化プログラム」に採択されました。本事業では、不足する基礎研究医、特に法医学や病理学分野における人材不足等の課題を解決すべく、他大学や関係機関と連携して様々な取組を行います。

### 【文部科学省「基礎研究医養成活性化プログラム」】

基礎医学を志す医師の減少に歯止めをかけ、我が国の国際競争力を強化するため、各大学が連携し、キャリアパスの構築までを見据えた体系的な教育を実施する取組を選定し、支援する事業です。

文部科学省 WEB サイト [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/iryoku/1385091.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/iryoku/1385091.htm)

事業年度：平成 29 年度～33 年度（5 年間）

補助金額：初年度 2 千万円

### ■本事業の概要

本事業では、法医学者を志す者に「法医学者になるための英才教育」を行います。将来性のある法医学者養成のためには、複数の法医学者と率直な意見交換ができる環境で、多くの症例を経験する必要があります。また、他領域の先端的研究の知識や技術に触れることによって、法医実務上の課題を研究に繋げる基礎研究力を付けることが求められます。

具体的には下記の取組を実践します。

#### （１）法医実務の臨床領域における臨床法医学トレーニング

法医実務上必要とされる臨床医学的な知識や技能を習得します。実習目的は以下のとおりです。

- ア 産婦人科研修：性犯罪被害者の診察法やメンタルサポートについての理解を深める
- イ 放射線科研修：死後画像に関する診断法の習得
- ウ 小児科学研修：虐待児の診察法や診断法の習得
- エ 地域医療研修：在宅医療の現場についての理解を深める。

#### （２）連携大学での法医実務研修

連携大学である琉球大学、北里大学での法医解剖に研修生が立ち会うことで、大学毎に特徴のある解剖手技や検査体制、鑑定方法についての研修を行います。研修後には成果報告会を開催し、研修成果だけでなく、各施設における解剖の質の向上や効率化を考えるきっかけにします。法医学者は全国的に少なく、今後は全国の法医学講座が連携し、症例検討会などを行うことで、鑑定の質の統一が図れるとともに、若い法医学者に対する大きな教育的効果が期待できます。

#### （３）病理学的基礎知識等の習得、遠隔病理診断（テレパソロジー）導入

法医病理診断には病理組織学的診断が不可欠であり、病理診断医との連携は必須ですが、実際には法医学者も病理診断医も人材不足で、多忙を極める状況となっています。そこで、法医学者と病理診断医

が効率的にディスカッションを行うために、テレパソロジー（遠隔病理診断）を導入します。これによって、物理的に離れた場所にいる法医学者と病理診断医が症例に関してディスカッションを行うことが可能となり、高い教育効果とともに効率的な法医病理診断が期待できます。また、貴重な症例のアーカイブ化も可能であり、貴重な医学的資料となります。

#### （４）法医学隣接領域の基礎医学研究指導

放射線科学や小児科学、微生物学、社会医学領域との連携により先端的知識と技術を習得し、法医学関連領域の研究指導を充実させます。

- ア 放射線科学：死後画像診断に関する基礎研究
- イ 小児科学・微生物学：乳幼児突然死や感染症、小児虐待に関する基礎研究
- ウ 社会学領域：在宅死の現状や高齢者虐待に関する社会的研究支援

#### （５）関連機関、法律家、海外法医学研究所との連携研修

県内の警察や児童相談所との連携により、法医解剖症例や小児虐待事案について、実際の症例を通して知識や技術の習得を行います。また、将来鑑定人として課される公判出廷に備えた法的知識の習得や、医療関連訴訟に関する知識を深めるための勉強会を開催します。さらに本邦の法医学の将来を考える上で海外モデルを知ることは重要であり、法医学の長い歴史を持つドイツ・ミュンヘン大学法医学研究所との相互交流によりグローバルな視点を持った法医学者を養成します。

#### ■主な連携先

以下の機関と連携体制を構築しプログラムを推進します。

- （１）琉球大学
- （２）北里大学
- （３）龍谷大学
- （４）本学病理学講座
- （５）神奈川県警察
- （６）児童相談所(横浜市・神奈川県)
- （７）横浜地方検察庁

#### <井濱容子教授 略歴>

- 1992. 4-1998. 3 弘前大学 医学部医学科
- 1998. 4-2002. 3 同大学 大学院 法医学専攻  
(1998. 4-2000. 3 同大学 第二外科 臨床研修)
- 2002. 4-2015. 3 琉球大学 大学院医学研究科 法医学  
(2014. 4-2015. 3 ミュンヘン法医学研究所 特別研究員)
- 2015. 4- 横浜市立大学 大学院医学研究科法医学

**YCU**  
横浜市立大学

<b>お問合せ先</b>
(取材対応窓口)
福浦キャンパス 学務・教務課長 谷 誠司 Tel 045-787-2501

# 実践力と研究力を備えた 法医学者育成事業

## 【前期プログラム】 集中的法医学的臨床研修

法医実務に関連する臨床領域と連携して  
集中的に法医実務に直結する実践的研修

## 【後期プログラム】

### ① 法医実務研修

- ・ 連携大学における法医実務研修
- ・ テレパソロジーによる法医病理診断連携
- ・ 鑑定・公判出廷トレーニング
- ・ 法学的知識の涵養
- ・ ミュンヘンとの相互交流、研修会

法医解剖・生体鑑定依頼  
鑑定トレーニング

### ② 基礎医学研究研修

- ・ 病理診断学や病理学的基礎的研究
- ・ 基礎研究領域での研究支援  
→ 各領域の先端的知識や技術の習得

研究支援  
人材交流

## キャリアパス

本学/連携大学教員ポスト・本学教育ユニット  
・ 関連病院ポストなど

## 関連臨床領域

- ・ 放射線科：死後画像診断
- ・ 産婦人科：性被害者対応
- ・ 小児科：虐待児診察法
- ・ 精神科：グリーフケア
- ・ 地域医療学：在宅医療
- ・ 医療安全：医療事故

## 関連行政機関

- ・ 神奈川県警：解剖依頼
- ・ 横浜地検：公判出廷
- ・ 児童相談所：虐待鑑定
- ・ 神奈川県：研修指導
- ・ 横浜市：地域医療
- ・ 医師会：研修指導

## 本学基礎講座

- ・ 病理学：突然死の病理学
- ・ 放射線科学：死後画像診断
- ・ 微生物学：突然死と感染症  
感染症診断キット開発
- ・ 臨床統計学：社会疫学研究
- ・ 小児科学：乳幼児突然死  
虐待児の法医学
- ・ 地域医療学：超高齢化社会  
在宅医療問題
- ・ 医療安全学：医療事故対応

## 法医学連携大学

### 琉球大学

- ・ 地方型法医学の研修
- ・ 海洋法医学
- ・ 全国トップクラスの解剖率
- ・ 検案実習・生体鑑定

### 北里大学

- ・ DNA分析
- ・ 法中毒学
- ・ 法医病理学
- ・ 法医解剖研修

研修生  
交流

テレパソロジーによる  
法医病理診断連携



## 病理学連携

### 本学病理学講座

- ・ 病理診断学
- ・ 病理検査技術
- ・ 病理学的研究支援

実務研究  
交流

### 関連病院病理部

- ・ 病理実務研修受け入れ（選択）

## 法律的連携

### 龍谷大学法学部

- ・ 「法医鑑定と検視制度」
- ・ 法学的支援
- ・ 判例検討会

勉強会  
症例コンサルト

国際交流  
研究会  
シンポジウム



ミュンヘン大学  
法医学研究所